

環境ミニ知識

新聞、テレビ、ニュースなどで見聞きするけれど、あまり知らない「言葉」や「現象」について少し知ってもらえたらいいな！と、ミニ知識を紹介するコーナーです。



MOF（金属有機構造体）って何？

京都大学特別教授の北川進氏が、ノーベル化学賞を受賞されたことは皆さんもご存じのことと思います。今回受賞の対象となったのが「MOF」の開発の功績です。この「MOF っていうって何？」ということですが、MOF は「次世代の活性炭」ともいえるガスを吸着できる金属有機構造体です。活性炭やゼオライトは孔の大きさが決まっていますが、MOF は孔の形を自由に変えて、さまざまな分子を取り込むことができます。原料となる有機分子と金属イオンを混ぜるだけで、ひとりでに複雑な構造が組み上がり、数ナノメートルの孔が無数に開いた材料を簡単に合成でき、また気圧の上げ下げで、気体の吸着・放出も可能だというものです。地球温暖化の原因である CO₂ の吸着材として、大いに期待できるのではないのでしょうか。

改正建築物省エネ法って何？

耳慣れない法律ですが、これは 2025 年 4 月に施行された法律で正式名は「建築物のエネルギー消費性能の向上等に関する法律」といいます。2022 年 6 月 17 日に公布され、今回 4 度目の改正となります。今回の主な改正点は 3 つありますが、その一つに新築建物は例外なく「省エネ基準の適合」が義務化されたことがあります。省エネ基準には次の 2 種類があります。①家中の電力消費量から太陽光発電などの削減量を引いた「一次エネルギー消費量(1.0 以下)」 ②外壁や開口部の表面積から失われる熱の損失量である「外皮基準(地域に準じた値以内に収める)」

ひとこと



「1 年が早い！」皆さんも感じておられることと思います。年を重ねると共に時間がたつのが早く感じられます。それは、過去が長くなり現在が短くなるからだとも言われていますが、何はともあれ新しい年を迎えました。

2025 年はコメ騒動や熊被害、物価高上昇等々様々なことがありましたが、昨年 12 月 8 日に起きた青森県東方沖地震では、2024 年元旦に起きた能登半島地震を思わずにはいられません。今年はいまだ復興半ばの彼の地の人々にとって、そしてすべての生あるものにとって良い年になるよう祈念します。



ひらかた環境ネットワーク会議 会報「環境ひらかた」第 88 号

令和 8 年 1 月 1 日発行（年 4 回発行）
発行：（特非）ひらかた環境ネットワーク会議



〒573-0042 大阪府枚方市村野西町 5 番 1 号
サプリ村野 南館 2 階

電話 072-847-2286

FAX 072-807-7873

E メール jimukyoku@hirakata-kankyou.net

ホームページ <http://www.hirakata-kankyou.net>

発行責任者：井上 浩一 編集責任者：丸井 晶子

市民・事業者・行政が協働し 環境先進都市を実現する ひらかた環境ネットワーク会議 会報誌

NO.88
冬号
令和 8 年
(2026 年)

環境ひらかた



新年 明けまして おめでとうございます

あけましておめでとうございます。
2026 年、新年を迎え今年はどうなるだろうと考えます。
昨年は歴史的に大きな変換を迎えた年でした。一つは 30 年という長きにわたった自民党と公明党との連立政権に終止符が打たれたこと。もう一つが、わが国始まって以来の女性首相が誕生したことです。
これらの事が今年、私たちの暮らしにどのような影響をもたらすのでしょうか。
また、地球温暖化が原因とされる様々な影響も、私たちの日常生活において毎年大きくなってきました。
環境団体であるひらかた環境ネットワーク会議としては、今以上に環境破壊が進まないよう決意を新たに頑張っていきたいと思っています。
今年もよろしく願います。

エコフォーラム開催！！

今年もエコフォーラムを下記のとおり開催します。



開催日 令和 8 年 2 月 14 日(土)

詳しくは P6 をご覧ください。

****目次****

新年のごあいさつ	P 1
講演会・インターン生企画環境ミニ講座報告	P 2
「バス！のってスタンプラリー報告」	P 3
部会報告	P 4・5
お知らせコーナー	P 6
環境トピック VOL.54	P 7
環境ミニ知識	P 8



お知らせコーナー

このコーナーの情報に関する申し込み、お問い合わせはひらかた環境ネットワーク会議事務局までご連絡ください。 ☎072-847-2286

◆◆◆エコキャップの回収報告◆◆◆

●エコキャップ R7 年度 搬入分

エコキャップの取り組みを通して、環境問題に関心を持ち行動するきっかけとなることを願っています



重量：136kg	(取組開始からの累計 9,350.8 kg)
個数：58,480 個	(取組開始からの累計 4,020,844 個)
CO ₂ 削減量：428.4 kg	(取組開始からの累計 29,455.02 kg)

搬入したエコキャップは、再生プラスチック原料として換金され、公益社団法人ドナルド・マクドナルド・ハウス・チャリティーズ・ジャパンに寄付され、全国で病気の子供とその家族が利用できる滞在施設の建設費及び運営に充てられます。詳しくは公益社団法人ドナルド・マクドナルド・ハウス・チャリティーズ・ジャパンのH・Pをご覧ください。

2026 ひらかたエコフォーラムを開催します

枚方市との共催事業であり、当団体にとっての1年の活動のまとめであるとともに、関係団体・関係事業者との交流の場でもある「ひらかたエコフォーラム」を右記のとおり開催します。今回の目玉は自然エネルギー部会が実施した「ひらかた版環境カルタ」の、お披露目です。お楽しみに♪

開催日：2月14日 1:00～12:00
 会場：サプリ村野
 南館2階 環境情報コーナー
 環境保全研修室
 市民活動研修室
 北館2階 201号室、202号室
 203号室

環境ミニ講座のご案内

今年最初の環境ミニ講座「どんぐりで作るバレンタイン見立てチョコ」

飾ってかわいい「どんぐり工作バレンタインチョコ♪」づくりを下記の通り開催します。ご参加お待ちしております。

日時：1月22日(木)13:30～15:00

場所：サプリ村野南館2階環境情報コーナー

持ち物：お菓子の空き箱または空き缶

*20cm×15cm 前後で特に大きさは問いません。



バス！のってスタンプラリー 開催！ 枚方“え～とこ”めぐってきました♪



2025年11月29日、35回目となる「バス！乗ってスタンプラリー」を開催しました。

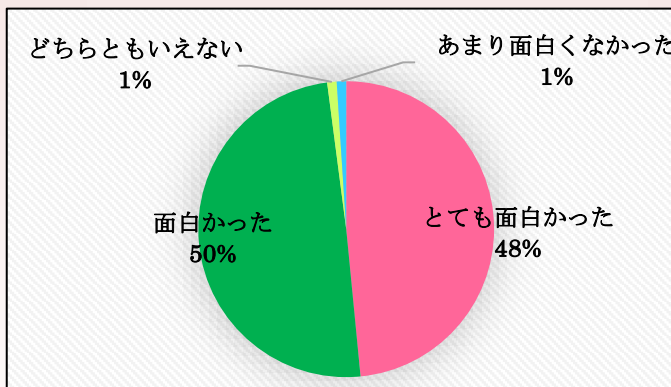
今回は“枚方のえ～とこ巡り”と題し、市内各所の“え～とこ”に15のスタンプポイントを設置し、1dayチケットで回ってもらいました。当日はお天気に恵まれ、開会式終了後、約200名の参加者は、それぞれ「交通タウンマップ」と「スタンプシート」を手に出発しました。

15箇所すべて回られたグループが何組かある一方、5箇所未満というグループもありましたが、アンケート結果でもわかるように、ほぼ皆さんが面白かったとお答えいただき、イベントを楽しんでもらえたようです。何より、この取り組みの目的の一つである「公共交通の利用促進」ということについては、「これから電車・バスなど公共交通機関をもっと利用しようと思いますか？」の問いに、約8割のそう思うとの回答があり、本取り組みが、公共交通の利用促進の一助になっている手ごたえを感じることができました。

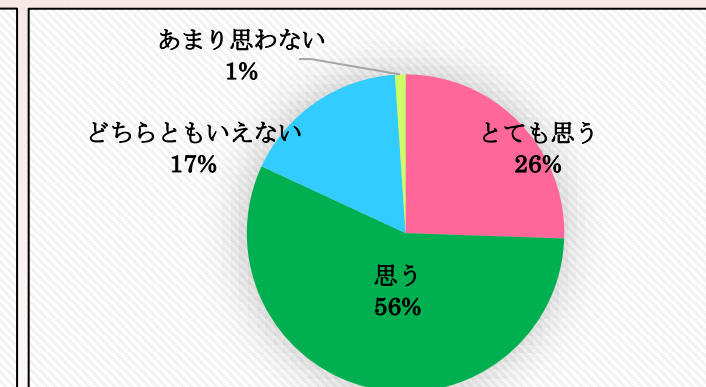
またアンケートでは、イベントへの要望もさることながら、バスへの要望もいただいています。それらの声に応えらえるよう努めていきたいと思っています。



今回の「バス！のってスタンプラリー」の企画内容は面白かったですか？



これから電車・バスなど公共機関をもっと利用しようと思いますか？



くらわんか塾 講演会「気象予報士が見る気候変動」開催

2025年11月17日、サプリ村野環境保全研修室にて「気象予報士が見る気候変動」をテーマに気象予報士の南利幸氏をお招きし、講演会を開催しました。

定員40人のところ、定員を超える45名の参加がありました。



自己紹介から始まった講演会は、まずは普段何気なく見聞きしている天気予報の見方について、クイズを交えわかりやすく解説していただきました。続いてのお天気に関する諺については、その“真偽”について、クイズを交え面白おかしく、氏の“俳句”も織り交ぜてお話しいただき、参加者の皆さんも大変満足されていました。最後にまとめの中で話されたのが、地球温暖化は確実に進んでおり今までの常識が通用しなくなっている。そこで「大事なことは知ること」ということでした。

気候変動が叫ばれて久しく、日本国民の意識・関心は高まったものの、「行動する・しなければならない」といった意識の高まりは、残念ながらそれほど高くはありません。南氏が言われた「大事なことは知ること」を心に留め、まずは“正しいことを知る”ことから始めてもらえればと思いました。

※環境講座「くらわんか塾」は広く市民の皆さんと一緒に「環境について知り・考える場」として毎年実施しています。

インターン生企画「親子で学ぼう ごみの分別」～12月13日～

2025年春季のインターン生3名による環境ミニ講座「親子で学ぼう ごみの分別」を実施。

ごみに見立てたイラストを、“魚釣りゲーム”ならぬ“ごみ釣り”で釣り上げ、それを資源ごみとしての“プラスチック”“紙”“缶・瓶”そして“燃えるごみ”“その他のごみ”に分けてもらいました。そのあと答え合わせをしましたが、大人対子供の対決形式で行ったこともあり、ごみの分別についてお互いに学ばうことができました。

残念ながら参加者は2組というさみしいものでしたが、インターン生にとってもごみについての認識が深まるとともに、伝えることの難しさを感じてもらえるいい機会になりました。



環境トピックス Vol.54

私達を取り巻く環境は日々変化しています。最近の環境問題や、環境に関する事柄について「知ってほしい・知らせたい」情報などをこのコーナーで伝えていきます。

今回は、「COP30 閉幕「脱化石燃料」合意に至らず」「東南アジア豪雨に死者1000人超に！」の問題です。

◆COP30 閉幕「脱化石燃料」合意に至らず

「パリ協定」からちょうど10年目の節目に当たる2025年11月10日、ブラジル・ベレン（アマゾン川の河口都市）でCOP30（第30回国連気候変動枠組条約締約国会議）が開催され22日に閉幕しました。

今回のCOP30で注目すべきは2点あります。一つは、化石燃料からの脱却に向けた行程表の策定が産油国などの抵抗で意見がまとまらず盛り込まれなかったこと。もう一つは、途上国に対して、猛暑や洪水といった災害対策のインフラ整備に必要な資金支援を3倍に増やす方針や、温室効果ガス排出削減を加速させるということについて合意されたことです。

ただ日本は脱炭素の工程表策定の声明を支持しませんでした。加えて、偽情報対策の宣言にも署名しませんでした。結果、このことだけによるものではありませんが、日本はまたもや化石賞受賞という不名誉な賞を受けることとなりました。

また、気候変動を「史上最大の詐欺」と主張した、世界第2位の温室効果ガス排出国アメリカのトランプ大統領のように、世界が力を合わせて取り組んでいることに、水を差すようなフェイクニュースが一方で広がっています。

私たちは偽情報に惑わされることなく、正しい情報にしっかりと耳目を傾け、私たちにできることに取り組んでいきたいものです。

◆東南アジア豪雨で死者1000人超に！

2025年12月1日、東南アジア各地での豪雨や洪水、土砂災害による死者が1,000人を超えたとのニュースに「これも温暖化の影響？」と思われた方も多いのではないのでしょうか。報道によると、インドネシア、マレーシア、タイの3か国は、マラッカ海峡で発生した熱帯低気圧による、1週間にわたる豪雨や突風が、大規模な災害をもたらしたということです。

死者が最も多いインドネシアでは、被害拡大を招いた原因として、鉱山開発等を目的とした違法な森林伐採による「森林破壊」だとの見方も出ていますが、そもそもの原因として「気候変動」は果たして関係ないといえるのでしょうか。





部会活動紹介

ひらかた環境ネットワーク会議では、それぞれテーマごとに部会を結成し、主体的に活動を行っています。



環境教育部会

～新年を迎え 決意を新たに～

前号(秋号)の会報誌で、環境出前授業の依頼が学校だけでなく団体などからもあり、会員一同喜んでいとお伝えし、「その報告はまたの機会に」と書きました。お待たせしました！今回その報告をします。2025年の実施テーマ等は下記の通りです。

6月19日	環境問題と電気エネルギーについて学ぼう	4年生3クラス(95名)
6月24日	ペットボトルから使い捨て問題を考えよう	4年生3クラス(78名)
7月21日	里山保全とクラフト体験	親子20組
10月14日	環境問題と電気エネルギーについて学ぼう	4年生4クラス(131名)
11月11日	ごみと環境問題・分別体験	2年生2クラス(40名)
	里山保全とクラフト体験	2年生2クラス(40名)

上記5回の環境出前授業に加え、前回報告した「夏休み親子環境講座」の6回(190名参加)があり、部会員で日程調整をし、協力して実施にあたりました。実施後の先生へのアンケートからは依頼理由として、「冊子を見て良いと思ったから」、「過去に依頼して良かったから」の声が、また感想としては「普段出来ない体験が出来て児童が楽しんでいた」との回答がありました。その一方で、工夫した方がいとお考えさせられる意見もあり、今後改善に活かしていきます。また児童達の感想からは、45分という短い授業時間で、自分事としてしっかりと学んでくれたことが感じられ、部会員にとってのやり甲斐につながっています。引き続き、他部会のメンバーとも協力しながら、環境啓発活動に邁進していきたいと新年を迎え部会員一同決意を新たにしています。

～体験型を中心とした環境出前授業の風景～



自転車発電で省エネを体験



プラごみの分別を体験



ごみ釣りゲームと分別を体験



手回し発電でエネルギー変換を体験



里山の間伐材で工作を体験



部会員の紹介

自然エネルギー部会

「ひらかた環境かるた」作成は順調に進んでいます！

明けましておめでとうございます。二言目には「暑い！」という言葉しか出てこなかった令和7年の夏、あっという間に寒さがつり、「四季から二季になりつつある」という言葉が真実味を帯びるようになってきました。さて、令和7年8月7日から9月14日に実施された「国民生活に関する世論調査」(内閣府)の結果を見られましたか？ 調査項目の一つ「政府への要望」で33項目挙げられ、複数回答可というものでしたが、「自然環境の保護・地球環境保全・公害対策」が28.5%しかありませんでした！！「物価対策」が73%、「医療・年金等の社会保障の整備」が64.7%なので、それらと比べ低すぎると思いませんか？

一方、私たちが五六市や様々なイベントで実施している「シール貼りアンケート調査」では、協力して下さった約65%の方々が「省エネや里山緑化保全、ごみ減量等」への意識を強く持っておられることが見えてきます。調査ベースの違いはあるものの、約65%の「意識がある」と「政府要望」の28.5%とのギャップ。これをどう捉えればいいのでしょうか？政府に要望しても無駄と思っているのか、はたまた諦めがあるのか？などと思いを巡らせますが、とにかく、私たちは「環境保全、温暖化対策や自然エネルギー導入等」に向けた意識を向上させ、出来る範囲で取り組んでいくことが大切だと思い、日々活動しているところです。

そこで、この日々の活動がより理解され広まればとの思いで、今「ひらかた環境かるた」の作成に汗を流しています。「環境と枚方の両方を盛り込んだ“読み札”を作るのはとても難しい」との声も多く寄せられています。本当に難しいですね！でも、作ることを通じて、枚方を再発見し、環境や自然エネルギー等の知見をより深めるきっかけにもなればうれしく思います。応募作品は、昨年11月末に344点を数えました。完成をお楽しみに♪ 今年もよろしくお願いします。

